

**公共工事の品確法に則り、週休2日の確保に取り組める環境整備や
i-construction の更なる拡大、円滑な施工体制の確保に取り組める環境の充
実等を図る観点から、最新の実態を踏まえ、積算基準等の改定が行われます。**

(1) 働き方改革に取り組める環境整備

<工事>

・ 週休2日制工事及び交替制モデル工事における間接工事費等の補正

⇒週休2日の実現に向けた環境整備として、現場閉所の状況に応じた労務費、機械経費（賃料）、
共通仮設費、現場管理費の補正係数を継続

⇒交替制モデル工事における週休2日の実現に向けた環境整備として、労務費の補正の他、
新たに現場管理費の補正係数を設定

・ 週休2日制工事における市場単価方式の補正係数の設定

⇒市場単価方式による積算について、週休2日の現場閉所の実施状況に応じた補正係数を新たに設定

(2) i-construction（建設生産性革命）の更なる拡大

<工事>

・ ICT 施工の新規工種

⇒ICT 技術の活用により生産性向上を図るため、新規工種として2工種を策定
構造物工（橋台・橋脚）（ICT） / 路盤工（ICT）

・ ICT 施工の見積参考資料の策定

⇒ICT 施工に伴う3次元起工測量、3次元設計データ作成の積算について、原則として見積徴取による
積上げとしているが、国の実績を基にした算定式を見積参考資料として新たに作成

(3) 円滑な施工体制の確保

<工事>

・ コンクリートダム工事における間接工事費の諸経費率の改定

⇒労務管理費等が増加している最新現場実態を踏まえ、コンクリートダム工事の共通仮設費率、現場管
理費率を改定

・ 間接工事費の工種区分（下水道(4)工事）の新設

⇒老朽化した下水道の更生工法による工事が増加していることを踏まえ、「下水道(4)工事」として工種区分
を新設

• 土木工事標準歩掛 改定

⇒日当たり施工量、労務、資機材等の変動により改定を行った工種【8工種】

• 施工パッケージ関係の改定

⇒新規制定【1工種】

⇒日当り施工量、労務、資機材等を改定する工種【14工種】

• 電気通信編 改定

⇒新規制定【1工種】

• 機械設備編 改定

⇒歩掛改定【2工種】

⇒工事の現場管理費率の改定

⇒施工箇所点在型の制定

<業務>

• 設計業務等標準歩掛等 改定

⇒路線測量の標準歩掛を改定

⇒公開成果品作成費の標準歩掛を新設

⇒地質調査、橋梁点検業務における安全費の率化

⇒工事監督支援業務における電算機使用経費の率化

• 電気通信施設設計業務積算基準 改定

⇒新規歩掛（直流電源設備、無停電電源設備及び耐震対策設計）を追加

詳細につきましては、下記【参考リンク】よりご確認ください。

【参考リンク】

国土交通省の報道発表資料

令和3年度 国土交通省土木工事・業務の積算基準等の改定”

～公共事業の働き方改革や生産性向上を推進するための環境整備に取り組みます～”

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000770.html

国土交通省 機械設備工事積算基準 “令和3年度版（対比表）（令和3年3月1日訂正）”

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000023.html

土木請負工事工事費積算基準（電気通信編）の改定概要（令和3年2月）

<https://www.mlit.go.jp/tec/it/denki/densekisankijun.html>

国土交通省 設計業務等標準積算基準書および同（参考資料） “令和3年度”

http://www.mlit.go.jp/tec/gyoumu_sekisan.html